



Tosa Junior & Senior  
High School

# 振 興 会 だ よ り

発行者 振興会会長 国見直樹 編集責任者 広報担当 徳永俊一 2005年(平成17年)12月発行

会長挨拶

支部だより

寄付行為改正の内容と経緯

校長室だより

環境部活動レポート

サッカー国際交流

第9回連絡協議会報告

第51回県青少年読書感想文コンクールで

優良学校賞に輝く!(土佐中)

☆詳細は次号で

月倉ふれあいセンター

朝倉図書室

J A朝倉さんと  
朝倉ふれあいセンターさんへ

感謝を込めて  
センター試験休憩所のお話



Vol. 11

# 『この6年を振り返って』

振興会会長 国見直樹

振興会会員の皆様、如何お暮らしてでしょうか。あの蒸し暑い夏もあつという間に過ぎ去り、気持ちの良かった秋は短く、早や師走。振興会だより発行の季節となりました。

今年のおよここの時期、振興会だより号外を発行しました。皆様のご子弟が通われている学校ですが、意外と詳しい情報は持っていないもので、突然の号外に驚かれた事と思います。

我々が号外に記載した内容と、おおむね正しく高知新聞に8月12日、13日、14日、26日と連日報道された記事で、皆様も経過をお知りになったことと思います。一連の動きもその後、落ち着きを取り戻し、学校が本来行う行事や将来行われるであろう校舎建築の取り組みも再開されました事は誠に喜ばしい事と感じております。

次に私事を含めて、振興会

会長を6年間務めさせていただいた事に、皆様に対して感謝の気持ちを述べさせていただきます。かつて私も6年間生徒として在籍させていただきました。ただ生徒時代は自分の事ばかりで、学校について深く考えたことは余りありませんでした。卒業し同窓生となり、土佐高の甲子園出場時には県外でエールを送り、学校に対しては母校への愛情や誇りを抱いていただけでした。平成5年に長女が土佐中

に入学して以来4番目の三女が現在高3生です。子供の在学13年間保護者として学校に再び関わる事となりました。平成10年の春に振興会の役員の仕事を抑せつかり、初めて学校を経営しているのが理事會、評議員會であるとの事実を知ったものです。平成12年に会長に選任され、ここで初めて土佐校の寄付行為という学校運営の規則書を読ま

せていただき、その時点での問題がどこに有るかを把握させて頂いた次第です。その寄付行為が今回新しく改定され、民主的な運営が可能となったことは、土佐校にとって本当に喜ばしき事であつて、歴史に残る騒動の顛末と言えるのではないかと思えます。

以上の経過を持ちまして、来年春に三女が卒業すると共に会長を引退いたしますが、今後は再び一同窓生として子供たちと一緒にずっと土佐校を見つめて行こうと思っております。

この職を全う出来たのも、皆様のご支援のお蔭です。我々振興会はこれからも土佐校の繁栄を願いながら活動を精一杯致しますので、会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 支部だより 土佐・須崎支部

平成17年度 支部長 井上 昭道

ここ数年、「土佐市支部」と「須崎支部」では生徒数が減少傾向にあるのと、出席してくださる先生方の負担を軽減するということから、支部総會を合同で開催していましたが、昨年度の「土佐市支部」と「須崎支部」の支部総會で、17年度より合併して支部名称を変更することが決議され、本年度から名実ともに「土佐・須崎支部」としての活動がスタートしました。

6月25日(土) 15時より太公望(土佐市宇佐)で開催した支部総會では、支部会員(会員数30名中)22名が参加するとともに、浜田教頭先生を始めとして各学年ごとにそれぞれ1名の先生方に出席をいただき、会則の制定、次年度支部役員を選任、本年度の活動計画などが決議されました。

総會後、支部側から学校側に対する質疑応答のなかで、新校舎建設について正確な情報があるかという質問があり、浜田教頭先生より次のような説明がありました。

「平成16年3月の理事会で校舎を建て替えることが決定されました。その後、計画を原点に戻り一度見直すことになり、その作業を続けています。それを受け、本年7月の理事会で時期、場所、方法、その他諸手続き等について最終決定を行なう予定です。その会で決定できない場合は、臨時理事会を開催して決定します。決定事項については、早急に保護者に連絡します。」という内容でした。その他に出された2、3項目の質問事項に対しては、関連の先生方から的確な回答がありました。質疑応答後は、学年ごとにそれぞれのグループに分かれ、学校生活の実状や進路相談等を含めた懇談會が行なわれました。

協議終了後の懇親會は、総會の緊張感からの開放からなのか、お酒が潤滑油となったからなのか大いに場が盛り上がり、2次會が帰る方向とは逆の須崎市であるにもかかわらず、数名の先生方が闇に消えていきました。合掌(笑)

# 校長室だより

## 学校長 池上 武雄



質問や貴重なご意見を頂き、有難うございました。

多くは新校舎建築や授業料値上げ等についてでしたが、その他進学指導、補習クラブ活動、施設改善、服装指導など多岐

振興会の皆様には平素格別のご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

恒例の支部総会は、6月18日香南支部を皮切りに11月19日嶺南支部まで18支部（合同を含め）総会のうち、15総会に出席させていただきました。保護者の皆様からは熱心なご

にわたり、私も出来るだけ詳しく具体的なにお答えするよう努めました。ご理解頂きましたでしょうか。ご質問・ご意見は支部総会時に限らず何時でも電話でも結構ですので、遠慮なく校長宛に頂ければ幸いです。音楽部のオーケストラ定期演奏会が11月3日「かるぽー

と」で開催され、3階までほぼ満員のお客様をお迎えすることができました。これ程迄に力強くご支援をいただいている思いが胸に込み上げ、ご挨拶が詰まっていまいました。改めて御礼を申し上げます。

また11月17日、文化行事として今年はお歌手の沢知恵さんにコンサートをお願いしました。

中高生徒全員が参加し、心に沁みる歌の数々に酔い痴れました。生徒の一人が沢さんの歌に感動して次のようなメールを沢さんに送り、折り返し沢さんからも感激のお礼のメールが届きました。生徒さんの名前は不詳ですが、紹介させていただきます。

「:アメージング・グレースの第二声を聴いたときから鳥肌がたち、2時間ずっと聴き入っていました。沢さんが話して下さった平和に対する思いに動か

された気がしています。私が気に入った曲、心に響いた曲は『死んだ男の残したものは』と美空ひばりさんのカバー曲『二本の鉛筆』です。2曲を聴き終わったあと自然に涙がでていました。沢さんは自分が伝えたいことを音楽に託して伝えていきます。とても素晴らしいことだと思います。私に音楽の才能はありませんが、私に出来ることで何かメッセージを伝えようと思

いました。私はこれから高校を卒業し、やがて社会の一員となります。その時に沢さんのように一人でも多くの人に大切なものを伝えていきたいです。:」

「感激なき人生は空虚なり」と先人は申されましたが、この生徒さんと同じように私も感動に浸ったすばらしいコンサートでした。

岡村甫先生（高知工科大学長、32回生）に委員長をお願いし、先生を含めて13名の委員か

らなる新校舎建築計画検討委員会が10月11日発足いたしました。耐震補強と早期全面改築のいずれをベースとするか、改築するとなれば、校舎の規模と資金の規模、校舎の内容・設備とコンセプト、採用すべき建替え方式と地震対策、今後の設計態勢等について、振興会、同窓会、本校教員の三位一体で、百周年に向けて本校がますます発展していけるような計画を検討していただくようお願いいたしました。既に発会以来数回にわたる委員会や作業部会が精力的に開催され、早期に一定の方向付けを目指し鋭意ご尽力いただいておりますことをご報告申し上げます。

寒さに向かう折から振興会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。よいお正月をお迎え下さい。



# 寄付行為改正の内容と経緯

8月12日にお届けした号外以来、会員の皆様にご心配をおかけしていますが、会長挨拶にもありますように、新寄付行為が認可され、校長辞任問題も解決致しました。その後の経緯の説明責任を果たすことが本部の務めであると考え、寄付行為検討委員の市川直介氏（土佐高53回生・弁護士）が発表された寄稿文を抜粋して掲載させて頂きま

す。  
学校法人の経営の基本的な事項を定める寄付行為（会社の定款にあたるもの）の改正案が、平成17年8月25日開催の理事会で承認され、9月6日高知県知事の認可がなされ、更に9月8日開催の理事会で新寄付行為に基づき宮地貫一氏及び岡村甫氏が理事に追加選任されました。ここに至るまで、川崎幾三郎理事長と池上校長先生の下に、多くの同窓生や学校教職員の皆様、振興会の皆様が様々な形で尽力されたことに、敬意と感謝を申し上げます。本稿では、21世紀における土佐校の更なる飛躍と皆様方の英知を学校経営に生かすことを目指した寄付行為

の改正の内容と経緯を報告致したいと思えます。

一 検討委員会では、従前の寄付行為の見直しを全面的に行ないました。本稿では、全部の改正点に言及することは不可能なので、理事会で最終的に問題になった論点について説明致します。

- ①理事の定数を増員するか
- ②相続人理事の規定を見直すか
- ③他の理事の相続人理事の委嘱規定を見直すか、の3点です。

この点、従前の寄付行為では次のとおり規定されておりました。

第五条 この法人に左の定数の役員を置く

- 一 理事6名以上8名以内 監事2名 書記1名
- 二 理事になるものは左の通りとする。

①設立者川崎、宇田両家の相続人1名は身分上法的支障のない限り歴代相承けて理事となる。但し各家の相続人2名以上の場合はその相続人に於て定めた者。

②この法人が設立する学校の学

- ③評議員の中から①、②からなる理事の委嘱によるもの
- ④相続人たる理事の委嘱によるもの。

## 1 理事の増員について

検討委員会では、卒業生が1万7千人もあり、各界で活躍している卒業生の英知をもっと学校経営に生かすべきではないか、若手の登用も必要ではないかとの意見が多数を占め、百年委員会の答申を尊重して2名の理事定数の増員を決めました。その結果、法律の規定により評議員の定数も4名増員となりました。

## 2 相続人理事の規定（第5条二項1号）について

検討委員会では、多面的に検討するために相続人理事規定に関し以下の条項を白紙の状態でも角的に検討しました。考えられる規定として次のものを検討しました。

①設立者川崎・宇田両家の相続人1名は身分上法的支障のない限り歴代相承けて理事（各家の相続人2名以上の場合、その相続人に於て定めた者）となる。また、本号の理事は、推定相続人の中から指名した者に対し、本号の理事職を譲ることができる

②設立者川崎・宇田両家から選

続人のうち、理事会において定めらる者

③学校法人に縁故ある功労者のうち、理事会において定める者

## ④相続人理事規定の削除

文部科学省の作成例及び他校の寄付行為例との比較検討した結果、私立学校には必ず学校設備等を寄付した設立者が存在しますが、文部科学省の公表している私立学校の寄付行為例では、相続人理事あるいは縁故功労者の規定は存在しませんでした。また、他校例で設立者や縁故者を尊重する場合においても、「学校法人に縁故ある功

労者のうち、理事会において定める者」との規定であり、理事会の決議を経ることにより民主的な選任方法を採用していました。検討委員会では、様々な意見が出されましたが、川崎・宇田家に対する敬意をはらうことと、今日の標準的な規定、すなわち民主的な選任方法である理事会の決議を経ることを調和し、前記①、②の規定を考慮した案を検討委員会の案とすることとしました。

## 3 相続人理事の他の理事の委嘱規定（第5条二項3号、4号）について

検討委員会では、特定の者が他の理事を選任できる規定は公的な

教育機関にふさわしくないと考え、標準的な選任規定に訂正することとしました。すなわち、標準的な規定である文部科学省の作成例を参照し、評議員のなかから選任される理事は評議員会で選任すること、学識経験者のうちから選任される理事は理事会で選任すること。

## 二 平成17年8月8日評議員会・理事会について

評議員会において今日までの経緯及び理事会で理事を選任する場合相続人理事の意見を尊重することを盛り込んだ修正案が提出されました。しかしながら、理事会において修正案は可決されず、不採択となりました。加えて、8月10日任期が切れる理事の後任理事について、寄付行為の改正に賛成の立場をとっていた宮地理事及び岡村理事を再任しない文書が提出されておりました。このような、理事会の結果および後任理事の選任状況を踏まえ、池上校長は退任の意向を理事長に伝えました。（この時点において振興会としては、事態の緊急性と重要性を認識し、国見会長以下役員が集まり、8月12日の号外の発行の決断に至った次第です。）以上の経緯をふまえ、

理事長は池上校長に対し慰留を行い、先の平成17年7月7日の理事会に提出された修正案に改正を行なうこと、及び宮地・岡村両氏に対して理事への就任を要請すること（理事長はもとから宮地氏と岡村氏の再任を指示していたことも判りました）を説明され、池上校長は辞意を撤回されました。理事長のこの意向は、平成17年8月13日開催の同窓会総会において、安岡同窓会幹事長よりメッセージを読む形で同窓生に発表されました。

川崎幾三郎理事長の見識の深さには、紙面の関係もあり十分に言及できませんが、ご家族含め人格者であり、私利にこだわらず高い視点での迅速な英断は土佐校の歴史に尊敬と報恩感謝の対象として刻まれたと思えます。

21世紀において、厳しい教育環境の下、土佐校生が世界に大きく羽ばたけるよう、学校当局と振興会と同窓会が協力一致して経営していくことのできる規定及び体制に前進したと思います。この紙面を借りてご支援いただいた多くの皆様に厚く感謝申し上げます。

（改定された項目抜粋）

第5条 この法人に、次の定数の役員を置く。

一 理事 8名以上10名以内  
（中略）

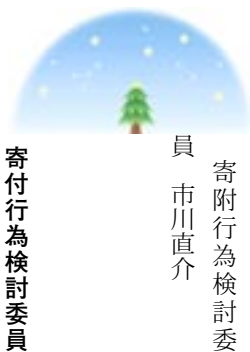
第6条 理事は、次の各号に掲げるものとする。

一 設立者川崎・宇田両家の相続人1名は身分上法的支障のない限り歴代相承けて理事（各家の相続人2名以上の場合は、その相続人に於て定めた者）となる。また、本号の理事は、推定相続人の中から指名した者に対し、本号の理事職を譲ることができ。

二 この法人の設立する学校の校長

三 評議員のうちから評議員会において選任した者2名以上3名以内

四 学識経験者のうちから理事会において選任した者2名以上4名以内



寄附行為検討委員  
市川直介

寄附行為検討委員

## 環境部活動しポート

皆さま、お気づきでしょうか。学校内に、お花がいっぱい植えられていることを。この時期は、色鮮やかなパンジーが来客の方をお迎えしています。一体、どなたが植えて下さっているのかな？と気をつけていますと、意外や意外！一見、お花には縁がなさそうな？・（ごめんなさい）福留正仁先生（保健体育）でした。環境部の部長先生です。



環境部の仕事は、学校全般の環境を整え、生徒や教職員が気持ちよく過ごせる環境づくり（美化）に他なりません。環境部部长に就任して、真っ先に思ったのが、「土佐校に深く貢献された先生方の銅像の前に花をいっぱい植えたい。」

だったそうで  
す。春は、ペ  
ゴニア、ペ  
チュニア、花  
すべり。今は  
パンジー、ピ  
オラを保健体  
育の若い先生  
や環境部の先  
生方、そしてバレー部員やその他の生徒の協力を得て、丹精込めて育てています。始めてみると日照や土や肥料など色々な問題にぶつかり、試行錯誤していく中で、健康に咲く花を見て、心癒されたそうです。



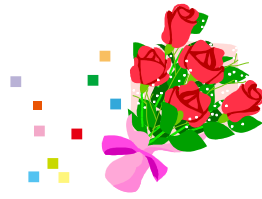
そんな優しい先生が心を痛めていることがあります。生徒に「自分たちの学校をきれいにする」という当たり前のことが当たり前のこととして、出来ていないということなんです。そのことを生徒に伝えたいと思う気持ちもあって、部長に就任された時に取り組んだことが「花を植えること」だったのです。「花は心を込めて育てれば育てるほど、美しく咲いて返してくれる。これからも、もっと花を増



やして、来客・教師・生徒、皆が花を見て心を落ち着かせ、癒されて欲しい。」と、優しい笑顔で語って下さいました。  
今、先生が「何とかしたい」と思っていることは、壊れたままの掃除用具入れを直す、あるいは買い換えること。お金の問題もあり、そのままになっています。生徒に「きちんとやれ、やれ」の前に、その気にさせるためにも、掃除用具入れを美しくしたいと心と頭を痛めているようでした。何とか協力できればと思いました。  
（振興会理事 上岡 まゆみ）



←朝倉ふれあいセンターさん



JA→朝倉さん



## また、今度のセンター試験もどうぞよろしくお願ひ致します！

### センター試験休憩所のお話

休憩所の生みの親は  
酒井満先生・  
石本利一さん(50回生)

いよいよ、高3生にとって勝負の日が近づいて来ました。来る1月21日、22日は、その後の受験を左右すると言っても過言ではないセンター試験が実施されます。どの受験生も「二次試験よりも何よりもセンター試験が緊張する!」と言っています。そもそもセンター試験は、共通一次試験という名称で、昭和54年に初めて実施されました。今から27年前のことです。当時は、今のように土佐高生の休憩室がありませんでした。雪がちらつく中、雨がそぼ降る中、早くに会場に着いた子供達は会場の控え室が開くまで、寒い中で震えながら待つことも多かったと聞きます。また、控え室には高知市内の学校の生徒が入り乱れ、緊張をほぐすことも出来な

いまま、受験に臨んでいました。

「普段、教室で試験を受ける感覚で、リラックスして自分の持てる力を100%出せる受験にしてやりたい。」



井上聖香先生

と、常々感じていた井上聖香先生(英語)は70回生の学年主任の時、当時主任団の一人だった酒井満先生(保健体育)に、「試験会場の高知大の近くで休憩所として使える会場がないだろうか。」と相談を持ちかけました。その相談を受けて、同じく心を痛めていた酒井先生は奔走します。JA朝倉支所に「ポッチ

ポッチリのある場所があるじゃないか!



酒井満先生

リッの会場を見つけた酒井先生は、何とかその会場を貸して貰えないかと、朝倉のJA組合員さんで、50回生の石本利一さんを訪ねます。「後輩のためになることなら!」と石本さんは快くその依頼を引き受けて下さり、かくして、土佐高生だけがリラックスして休憩できる、暖房の利いた場所が確保されたわけです。今から11年前のことでした。石本さんは普段は窪川で幅広く農業を営まれているのですが、センター試験の日にはどんなことがあっても高知に帰って来て、朝早くに休憩所の鍵を開け、そして終われば鍵を閉めるというお世話をし続けて下さっ

## 3/6(月)~10(金) 発表      3/12(日) 後期試験      3/20(月) 発表



みんな 緒たし心強いね!



食事中も勉強してた!?





グループで学習中!



最後まであきらめないで!!



## JA 朝倉さん、朝倉ふれあいセンターさん! 毎年お世話になっています

ています。お陰さまで、センター試験を受験する土佐高生は、後に朝倉ふれあいセンターを加えたので2ヶ所に分散して、勝負の二日間を、和気あいあいとした雰囲気の中で過ごすことが出来ているのです。朝早くから来ても、試験の空き時間にも、昼食時にも、緊張をほぐすこと出来る温かい場所があることは、本当に有り難いことです。

### 80回生に感想を聞きました

昨年受験した80回生の声をひらいてみました。

T君・・・試験がない時間帯に《勉強+団らん(?)》っぽい事ができてよかった。友達が勉強しゆうき、『負けれん!!』って思えて頑張れたし。実際今年はどうしよう・・・

Eさん・・・めっちゃ居心地よくて最高やった!!私はかなりリラックスできましたよ。

Rさん・・・かなり緊張していたのに友達と会えて話すことで、緊張がとけたのが良かった。

それに暖かいし、落ち着けて良かった。

Aさん・・・距離はちよつと遠めだったけど、わりと快適だったよ。あ!人がいっぱいいる時は狭く感じたし、机が足りなかったよね。

### 保護者が休憩所のお世話に

さて、このようにして始まった休憩所は、翌年、土佐校で長い間、理科の実験助手をして下さっていた山岡先生の声がけで、高三のお母さんや朝倉支部のお母さん方がお昼時にお茶を出して下さるようになり、その輪が旭支部に広がり、現在は高三の保護者が組織して、休憩所のお世話をすることに発展して来ました。昨年お世話をされた保護者の方が、次のようなコメントを寄せて下さいました。「殆どの子供達が利用したのに驚いた。みんなリラックスしていたように思う。先生方が10ポイントアップと称する古語や英単語の発音やアクセント、イデオム等の最終チェック表を作って

くれたり、先生に質問したり、友達同士で教え合ったりと、和やかな雰囲気の時が過ごせていた。子供達が試験場に向う時は、保護者の『行つてらっしゃい!』に、元気良く『行つて来ませう』の声が響く。このような子供達の姿を見るにつけ、休憩所があることの有難さを痛感した。」

今回の取材を通じて、11年前に会場探しに奔走して下さいました酒井先生、その後も継続するために努力して下さいている先生方、石本さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。06年度のセンター試験でも、保護者が協力して休憩所を運営することになっていきます。この良き新しい伝統を継いでいくことで、今後も子供達が、いい形でリラックスして受験出来るようになればと思います。保護者の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

(振興会副会長  
北村恵美子)



1/31(火) 卒業式・謝恩会 2/7(火) 出願締め切り 2/25(土) 前期試験



みんなでラストスパート!



♪くつろぎのランチタイム♪



# 第9回連絡協議会報告

振興会理事 島内祥宏

12月7日午後5時より土佐  
中等学校1階新応接室におい  
て、学校と振興会とで定例の連  
絡協議会が行われました。



まず開会にあたって、国見振  
興会会長より挨拶が述べられ、  
次に池上校長より次のような報  
告が行われました。

1. 振興会支部会への出席報告
  2. 本年の高校3年生の進学志願の状況報告
  3. 本校と安芸市、土佐市、四万十市で行われた中・高学校説明会の報告
  4. 11月17日に文化行事として本校体育館で開催した沢知恵コンサートの報告
  5. 新校舎建築検討委員会の校長への答申原案がほぼまとまったことの報告
- 次に、振興会よりの議案提出

で次のような協議が行われま  
した。

**振興会** 現在環境部の先生や保健体育の若手先生、生徒がボランティアで行っている学校の花壇の手入れのための費用を振興会の予算で組ませて頂きますので、どのくらい補助をすればよいか相談させて頂きたいと思えます。

**学 校** 大変有難いことです。宜しく願います。

**振興会** 各教室の掃除用具を入れてあるロッカーが壊れたりひどく汚れたりしているの  
で、振興会で買い換えの予算を組みたいと思えますが、それにあたって現在の生徒の掃除の具体的なやり方と掃除の専門業者の使用状況を教えて下さい。特に一般教室以外の場所はどのように割り当てているかを教えて下さい。

**学 校** 各クラスで自分の教室と他の場所2カ所位を割り当ててやっています。掃除専門業者はトイレは定期的に掃除を依頼していますが、その他の場所は卒業式などの特別な行事の前に入れていただけ

です。

**振興会** 掃除は生徒の教育上重要なことなので、掃除場所の割り当て方法などを根本的に変える必要があるのではないのでしょうか。

**学 校** 掃除道具入れの購入はその件も含め、検討したいので、もう少し待って頂きたいと思えます。

**振興会** 最近、生徒の挨拶がよく出来るようになったと思えます。



の中、今後指導を続けます。

**学 校** まだまだだと思えますので、今後も指導を続けます。

**振興会** TSLについて、現在中断しているが、今後再開の意見は出ていないでしょうか。

**学 校** 今までの問題点を検証することが必要だと思えます。

**振興会** いろいろなアイデアで生徒の知的好奇心を刺激するようなやり方は出来ないでしょうか。

**学 校** 現在もそれなりのことは行っていますが、なお、検討させてもらいます。

**振興会** 戸田浩司君(80回生)

への支援をお願いします。(まず戸田浩司君の感染症についての説明と骨髄移植の現状の説明がスライドを使って行われました。)骨髄移植の場合、提供する側の負担が大きいので提供者を集めるのが大変ではあります。ドナー登録の協力を広く呼びかけることによる戸田浩司君への支援をお願いします。

**振興会** 毎回振興会便りを成績表と一緒に送ってもらっていますが、今回は新校舎建築検討委員会の校長先生への答申を同封して頂きたいです。

**学 校** 現在の封筒では入りきらないと思えますので、その件を含め検討します。

**振興会** その他生徒指導等についての報告をお願いします。

**学 校** 最近高知市周辺での不審者が多発しています。生徒を取り巻く環境が悪化しているのは明らかで、現在警察と協力して、そのような場合の自己防衛手段の講義の開催を検討中です。また、危険性をはらむ特定のインターネットの掲示板に参加する事の悪影響について終業式で注意する予定です。

## 国際交流サッカー大会

—スポーツは言葉のいらぬ国際交流—

振興会理事 筒井善樹

10月2日、土佐校新グラウンドで国際交流サッカー大会が開催されました。この大会は、スポーツや音楽活動を通して市民レベルでの交流の場を提供しているボランティア団体「高知ミナポータル会」が主催。会員である土佐校サッカー部OBを中心に毎年開催しているもので、今年で11年目になります。



JICA研修生と土佐校サッカー部、サッカー部OBら約100人が参加、楽しくも熱のこもった試合に汗を流しました。試合後は、バーベキューパーティも開催。食材はOBの方々より提供されており、その手づくりの味を堪能することができました。また、参加者の国自慢も披露され、音楽とトークで交流の輪を広げ、高知の秋を楽しみました。最後に全員で「We are the world」を歌い、国際色豊かな交流の場となりました。

